

給与支払報告
特別徴収
に係る給与所得者異動届出書

		年度	1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度			
福島県須賀川市長 給与所得者のマイナンバーを記入してください。 日提出	給与支払者	所在地	〒962-0831 須賀川市八幡町135		特別徴収義務者 指定番号	90008500		
		フリガナ	カブシキガイシャマルマル		宛名番号			
		氏名又は名称	株式会社 ○○○		所属	経理		
		個人番号又は法人番号	1234567890123		氏名	牡丹美子		
給与所得者	フリガナ	スカガワ サブロー	(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収税額の徴収方法 (注)
	氏名	須賀川 三郎						
	生年月日	(昭・平) 2年 9月 29日						
	個人番号	987654321012						
	受給者番号	0110						
	1月1日現在の住所	須賀川市柱田字中地前22						
異動後の住所	宮城県○○○	6,000円	40,000円	20,000円	◇◇年 1月 31日	1 右から番号を記入 事由・理由	2 右から番号を記入	
								1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)

1. 特別徴収継続の場合

(新しい勤務先) 特別徴収義務者	特別徴収義務者 指定番号	退職に伴い住所の異動があれば記入してください。		法人番号		新しい勤務先へは、月割額_____円を	
	所在地	〒		担当者連絡先	所属	_____月分(翌月10日納入期限分)から	
	フリガナ			氏名		徴収し、納入するよう連絡済です。	
	氏名又は名称			電話		受給者番号	_____
					内線 ()	納入書の要否 (新規の場合のみ記載)	<input type="checkbox"/> 右から番号を記入 1. 必要 2. 不要

2. 一括徴収の場合

理由	2 右から番号を記入	1. 異動が _____年12月31日までで、一括徴収の申出があったため	徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	左記の一括徴収した税額は、 _____月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。
		2. 異動が ◇◇年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	◇◇年2月20日	20,000円	

3. 普通徴収の場合

理由	<input type="checkbox"/>	1. 異動が _____年12月31日までで、一括徴収の申出がないため	徴収済月	更正月
		2. _____年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため		
		3. 死亡による退職であるため		

一括徴収の場合、納入月は必ず記入してください。

市町村記入欄	異動事由		
	退職一括	退職一括	他一括()
	退職普徴	退職普徴	他普徴()
	入力日	前年度	新年度

(注) 新年度分又は両年度分の異動届出書を作成する場合における「異動後の未徴収税額の徴収方法」欄等の記載方法
 ① 新年度分の異動届出書を作成する場合であって、新しい勤務先において特別徴収されることを希望する場合、本欄は記載せずに、「1. 特別徴収継続の場合」欄に必要事項を記載してください。普通徴収されることを希望する場合、本欄及び各徴収方法欄は記載不要です。
 ② 両年度分の異動届出書を作成する場合、本欄は異動年月日時点で現に特別徴収している特別徴収税額について記載してください。
 ③ 両年度分の異動届出書を作成する場合における、現年度分及び新年度分それぞれの異動後の税額については、原則として以下の徴収方法によることを希望しているものとして扱われます。
 (現年度分) 本欄で選択した徴収方法。
 (新年度分) 「1. 特別徴収継続の場合」欄に記載があった場合は新しい勤務先における特別徴収。記載がなかった場合は普通徴収。

給与支払報告
特別徴収
に係る給与所得者異動届出書

		年度	1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度				
福島県須賀川市長	給与 支 払 者 (特別徴収義務者)	所在地	〒962-0831 須賀川市八幡町135		特別徴収義務者 指定番号 宛名番号 所属 氏名 当絡者先				
		フリガナ	カブシキガイシャマルマル						
		氏名又は名称	株式会社 ○○○						
		個人番号 又は法人番号	1234567890123						
給与所得者のマイナンバーを記入してください。 日提出		特別徴収義務者 宛名番号	90008500						
給与所得者のマイナンバーを記入してください。 日提出		特別徴収義務者 所属	経理						
給与所得者のマイナンバーを記入してください。 日提出		特別徴収義務者 氏名	牡丹美子						
給与所得者のマイナンバーを記入してください。 日提出		特別徴収義務者 当絡者先	0248-75-○○○○ 内線 ()						
給与所得者	フリガナ	スカガワ サブロー		(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収 税額の徴収方法 (注)
	氏名	須賀川 三郎							
	生年月日	(昭・平) 2年 9月 29日							
	個人番号	987654321012							
	受給者番号	0110							
	1月1日現在の住所	須賀川市柱田字中地前22							
異動後の住所	宮城県○○○								
		60,000 円	6月 から 11月 まで	30,000 円	12月 から 5月 まで	30,000 円	◇◇年 11月 30日	1 右から 番号を 記入	3 右から 番号を 記入
								1. 退職 2. 転職 3. 退職・長欠 4. 死 5. 支払少額・不定期 6. 合併・解散 7. その他	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)

1. 特別徴収継続の場合

(新しい勤務先) 特別徴収義務者	特別徴収義務者 指定番号	退職に伴い住所の異動があれば 記入してください。		法人番号		新しい勤務先へは、月割額_____円を
	所在地	〒		担当者 連絡先	所属	_____月分(翌月10日納入期限分)から
	フリガナ			氏名		徴収し、納入するよう連絡済です。
	氏名又は名称			電話		受給者番号
					内線 ()	納入書の要否 (新規の場合のみ記載)
						<input type="checkbox"/> 右から 番号を 記入 1. 必要 2. 不要

2. 一括徴収の場合

理由	右から 番号を 記入	1. 異動が	年12月31日までで、一括徴収の申出があったため	徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	左記の一括徴収した税額は、 _____月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。
		2. 異動が	年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	月 日	円	

3. 普通徴収の場合

理由	1. 異動が ◇◇年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. _____年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため 3. 死亡による退職であるため
----	--

※市町村記入欄	宛名コード	徴収済月	更正月
	異動事由		
	退職一括 退職普徴	休職一括 休職普徴	他一括() 他普徴()
	入力日	前年度	新年度

(注) 新年度分又は両年度分の異動届出書を作成する場合における「異動後の未徴収税額の徴収方法」欄等の記載方法
 ① 新年度分の異動届出書を作成する場合であって、新しい勤務先において特別徴収されることを希望する場合、本欄は記載せずに、「1. 特別徴収継続の場合」欄に必要事項を記載してください。普通徴収されることを希望する場合、本欄及び各徴収方法欄は記載不要です。
 ② 両年度分の異動届出書を作成する場合、本欄は異動年月日時点で現に特別徴収している特別徴収税額について記載してください。
 ③ 両年度分の異動届出書を作成する場合における、現年度分及び新年度分それぞれの異動後の税額については、原則として以下の徴収方法によることを希望しているものとして扱われます。
 (現年度分) 本欄で選択した徴収方法。
 (新年度分) 「1. 特別徴収継続の場合」欄に記載があった場合は新しい勤務先における特別徴収。記載がなかった場合は普通徴収。

給与支払報告
特別徴収
に係る給与所得者異動届出書

		年度	1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度
福島県須賀川市長 給与所得者のマイナンバーを記入してください。 日提出	給与支払者	所在地	〒962-0831 須賀川市八幡町135		
		フリガナ	カブシキガイシャマルマル		
		氏名又は名称	株式会社 ○○○		
		個人番号又は法人番号	1234567890123		
		特別徴収義務者指定番号	90008500		
	宛名番号				
	所属	経理			
	氏名	牡丹美子			
	担連絡者先	0248-75-○○○○			
		内線 ()			
給与所得者 フリガナ スカガワ サブロウ 氏名 須賀川 三郎 生年月日 (昭・平) 2年 9月 29日 個人番号 987654321012 受給者番号 0110 1月1日現在の住所 須賀川市柱田字中地前22 異動後の住所 宮城県○○○	(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異動年月日	異動後の未徴収税額の徴収方法 (注)
	60,000 円	20,000 円	40,000 円	◇◇年 9月 30日	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)
		6 月から 9 月まで	10 月から 5 月まで		2 右から番号を記入 事由・理由
					1 右から番号を記入
					1. 退職 2. 転職 3. 休職・長欠 4. 死亡 5. 支払少額・不定期 6. 合併・解散 7. その他

※個人事業主の場合、転勤先に事業主のマイナンバーが漏れるのを防ぐため、記入しないでください。

給与所得者のマイナンバーを記入してください。

忘れずに記入してください。

忘れずに記入してください。

退職に伴い住所の異動があれば記入してください。

1. 特別徴収継続の場合		特別徴収義務者指定番号	90009999	法人番号	2345678901234	新しい勤務先へは、月割額 5,000 円を 10 月分(翌月10日納入期限分)から徴収し、納入するよう連絡済です。
新しい勤務先 (特別徴収義務者)	所在地	〒△△△-△△△△	宮城県○○○	担当者連絡先	経理 赤松 百合	受給者番号 9630
	フリガナ	サンカクカブシキガイシャ		氏名	022-○○○-△△△△	納入書の要否 (新規の場合のみ) 1 右から番号を記入 1. 必要 2. 不要
	氏名又は名称	△△△株式会社				

必ず転勤先を経由して送付してください。
※特別徴収義務者が変わらない場合は、報告の必要はありません。

給与支払者の法人番号又はマイナンバーを記入してください。

会社使用の社員番号等があれば、必ず記入してください。

理由	<input type="checkbox"/> 1. 異動が 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため <input type="checkbox"/> 2. 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため <input type="checkbox"/> 3. 死亡による退職であるため
----	--

宛名コード	徴収済月	更正月
異動事由		
退職一括	休職一括	他一括()
退職普徴	休職普徴	他普徴()
入力日	前年度	新年度

(注) 新年度分又は両年度分の異動届出書を作成する場合における「異動後の未徴収税額の徴収方法」欄等の記載方法
 ① 新年度分の異動届出書を作成する場合であって、新しい勤務先において特別徴収されることを希望する場合、本欄は記載せずに、「1. 特別徴収継続の場合」欄に必要事項を記載してください。普通徴収されることを希望する場合、本欄及び各徴収方法欄は記載不要です。
 ② 両年度分の異動届出書を作成する場合、本欄は異動年月日時点で現に特別徴収している特別徴収税額について記載してください。
 ③ 両年度分の異動届出書を作成する場合における、現年度分及び新年度分それぞれの異動後の税額については、原則として以下の徴収方法によることを希望しているものとして扱われます。
 (現年度分) 本欄で選択した徴収方法。
 (新年度分) 「1. 特別徴収継続の場合」欄に記載があった場合は新しい勤務先における特別徴収。記載がなかった場合は普通徴収。